



2020年10月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2020年3月9日

上場会社名 株式会社ビーアンドピー 上場取引所 東
 コード番号 7804 URL https://www.bandp.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 和田山 朋弥
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経営管理本部長 (氏名) 清水 明 TEL 06-6448-1801
 四半期報告書提出予定日 2020年3月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年10月期第1四半期の業績（2019年11月1日～2020年1月31日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年10月期第1四半期	659	—	65	—	65	—	44	—
2019年10月期第1四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年10月期第1四半期	19.54	19.31
2019年10月期第1四半期	—	—

(注) 当社は、2019年10月期第1四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2019年10月期第1四半期の数値及び2020年10月期第1四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年10月期第1四半期	2,952	2,518	85.3
2019年10月期	3,160	2,588	81.9

(参考) 自己資本 2020年10月期第1四半期 2,518百万円 2019年10月期 2,588百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年10月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2020年10月期	—	—	—	—	—
2020年10月期（予想）	—	0.00	—	50.00	50.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、当面の配当方針としては期末配当の年1回を基本方針としております。

3. 2020年10月期の業績予想（2019年11月1日～2020年10月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,200	6.3	497	16.6	496	16.4	330	6.1	143.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年10月期 1 Q	2,300,000株	2019年10月期	2,300,000株
② 期末自己株式数	2020年10月期 1 Q	－株	2019年10月期	－株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年10月期 1 Q	2,300,000株	2019年10月期 1 Q	－株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、T D n e t 及び当社ウェブサイトにて同日開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国経済は、2019年10月の消費税増税については各種対応策により個人消費への影響が抑えられたものの、米中貿易摩擦、中東情勢の緊迫化、英国のEU離脱、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大等による影響が懸念され、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社はお客様からの信頼をより高めるべく、引き続き営業体制・制作体制の両方の強化を図ってまいりました。当第1四半期累計期間においては、2019年11月に名古屋営業所を開設し、未開拓営業エリアであった名古屋地区において地域に密着した営業・サポート体制を構築し、確実に迅速な対応・サービス提供を開始いたしました。

以上の結果、売上高は659,374千円、営業利益は65,306千円、経常利益は65,425千円、四半期純利益は44,947千円となりました。

なお、当社は、前第1四半期累計期間については四半期財務諸表を作成していないため、前年同四半期累計期間との詳細な比較分析は行っておりませんが、前第1四半期累計期間における販売実績につきましては、参考値として記載しております。

下記のとおり、前年同四半期累計期間と比較して売上高は減少しておりますが、これは前第1四半期累計期間には、販売促進用広告の大型量産案件の売上があり、かつ、第2四半期に売上を予定していた生活資材・製品制作案件が第1四半期に前倒しになるなど、売上高が増加したためであり、当第1四半期累計期間の経営成績はほぼ想定の内進捗しております。

(単位：千円)

区分	前第1四半期累計期間 (自 2018年11月1日 至 2019年1月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)	前年同期比 (%)
販売促進用広告制作	631,117	559,686	88.7
生活資材・製品制作	130,722	99,687	76.3
合計	761,840	659,374	86.6

なお、当社はインクジェット出力事業の単一セグメントであります。したがって、セグメント別の経営成績の記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、2,664,743千円（前事業年度末は2,875,329千円）となり、210,585千円減少いたしました。その主な要因といたしましては、法人税等及び消費税等の確定納付168,931千円の資金支出があり現金及び預金が173,493千円減少したこと、売上債権が66,415千円減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、287,661千円（前事業年度末は285,015千円）となり、2,646千円増加いたしました。その主な要因といたしましては設備投資による有形固定資産の増加6,456千円であります。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、294,163千円（前事業年度末は429,352千円）となり、135,188千円減少いたしました。その主な要因といたしましては、法人税等及び消費税等の確定納付により未払法人税等が23,903千円、未払消費税等が83,989千円それぞれ減少したこと、買掛金が36,036千円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、139,732千円（前事業年度末は142,428千円）となり、2,696千円減少いたしました。その主な要因といたしましては、リース債務が2,709千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、2,518,509千円（前事業年度末は2,588,562千円）となり、70,052千円減少いたしました。これは、四半期純利益44,947千円を計上したものの、剰余金の配当115,000千円の減少要因があったためであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年10月期通期の業績予想につきましては、2019年12月9日に公表しました業績予想から修正を行っております。

なお、業績予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,154,550	1,981,057
受取手形	59,312	79,868
電子記録債権	111,515	205,039
売掛金	514,071	333,575
仕掛品	5,631	27,168
原材料	8,216	15,683
貯蔵品	546	511
前払費用	20,937	21,539
その他	546	300
流動資産合計	2,875,329	2,664,743
固定資産		
有形固定資産		
建物	25,715	28,295
機械及び装置	428,708	445,866
車両運搬具	632	632
工具、器具及び備品	7,369	7,369
リース資産	76,342	50,509
その他	1,575	2,009
減価償却累計額	△437,306	△425,189
有形固定資産合計	103,037	109,493
無形固定資産		
ソフトウェア	4,532	4,139
のれん	34,251	33,023
顧客関連資産	20,990	19,667
無形固定資産合計	59,774	56,830
投資その他の資産		
出資金	60	60
敷金	66,977	66,086
繰延税金資産	49,954	49,954
その他	5,211	5,236
投資その他の資産合計	122,202	121,337
固定資産合計	285,015	287,661
資産合計	3,160,344	2,952,405

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年10月31日)	当第1四半期会計期間 (2020年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	182,567	146,530
未払金	9,119	4,346
未払費用	41,432	33,214
未払法人税等	50,155	26,252
未払消費税等	118,776	34,787
預り金	15,554	15,977
賞与引当金	—	17,241
リース債務	11,746	11,155
その他	—	4,658
流動負債合計	429,352	294,163
固定負債		
役員退職慰労引当金	121,060	121,060
資産除去債務	7,676	7,689
リース債務	13,692	10,982
固定負債合計	142,428	139,732
負債合計	571,781	433,896
純資産の部		
株主資本		
資本金	286,000	286,000
資本剰余金	276,000	276,000
利益剰余金	2,026,562	1,956,509
株主資本合計	2,588,562	2,518,509
純資産合計	2,588,562	2,518,509
負債純資産合計	3,160,344	2,952,405

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期累計期間 (自 2019年11月1日 至 2020年1月31日)
売上高	659,374
売上原価	386,031
売上総利益	273,342
販売費及び一般管理費	208,036
営業利益	65,306
営業外収益	
受取補償金	287
雑収入	51
営業外収益合計	339
営業外費用	
支払利息	219
営業外費用合計	219
経常利益	65,425
税引前四半期純利益	65,425
法人税等	20,478
四半期純利益	44,947

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。